

- 問1 別海町を含む北海道東部の地域で、稲作や一般的な畑作よりも酪農が著しく発達した地理的な要因は何か。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 冬の積雪量が非常に多く、豊富な雪解け水を利用して大規模な水田耕作が可能だから
 2. 夏に親潮の影響で海霧が発生しやすく気温が上がらないため、牧草の栽培に適しているから
 3. 大都市である札幌に近接しており、新鮮な牛乳を迅速に出荷できる立地条件にあるから
 4. 火山灰性の土壌が広がっており、水はけが良すぎるため根菜類の栽培に特化しているから
- 問2 北海道には古くから独自の文化を築いてきた先住民族が居住しており、現在の札幌をはじめとする道内の多くの地名は彼らの言葉に由来しています。この民族を何と呼びますか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
1. 大和民族
 2. アイヌ民族
 3. 琉球民族
 4. ウィルタ民族
- 問3 北海道の生乳の利用状況について、栃木県などの都市圏に近い地域と比較した統計によると、北海道では生産された生乳の8割以上がバターやチーズなどの原料となる「加工用」に回されています。このように、北海道で加工用の割合が極めて高い理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
1. 大消費地から遠いため、日持ちのする乳製品に加工して出荷しているから
 2. 冬の期間が長く気温が低いため、液体としての輸送が困難だから
 3. 道内の人口が少ないため、飲料としての需要がほとんど存在しないから
 4. 地域に根ざした地場産業として、伝統的な発酵食品の製造が推奨されているから
- 問4 札幌市と福岡市の降水量を比較した資料において、6月から7月にかけての札幌市の降水量は、福岡市などの都市と比べて著しく少ないことが示されています。このような気候の特徴が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 寒流である親潮の影響によって海水温が低く、大気中の水蒸気量が年間を通じて極めて少ないため。
 2. 太平洋側から吹く温かく湿った空気が、日高山脈などの高い山々にさえぎられて乾燥した風になるため。
 3. 梅雨をもたらす停滞前線が北海道付近まで北上する頃には、勢力が弱まるなどして消滅することが多いため。
 4. 夏の季節風がシベリア高気圧の影響で乾燥し、雨雲が発達しにくくなるため。
- 問5 札幌市の中心部で、道路が垂直・水平に交わり区画が整理された「格子状の街路」が採用された背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 島根県公立入試 類似)
1. 江戸時代の城下町の構造を引き継ぎ、敵の侵入を防ぐために見通しの良い道路を配置したため。
 2. 広場を中心に道路が四方八方へ伸びる、中世ヨーロッパの都市計画をそのまま導入したため。
 3. 明治政府の開拓使が、広大な土地を効率的に管理・開発するために計画的な都市建設を行ったため。
 4. 自然発生的に形成された集落が、人口増加に伴って地形に合わせて四方に拡大していったため。
- 問6 日本の都道府県別の農業産出額において、品目別の割合を示した統計資料のうち、畜産の割合が約52.5%と過半数を占め、一方で米の割合が約12.2%にとどまっているという特徴を持つ都道府県はどこですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 宮崎県
 2. 北海道
 3. 千葉県
 4. 新潟県
- 問7 日本の農作物の生産統計において、北海道が全国の生産量の約8割を占め、主に砂糖の原料として利用される寒冷地向けの作物は何ですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. さとうきび
 2. りんご
 3. てんさい
 4. 茶
- 問8 北海道のほぼ中央に位置する内陸部の気候について述べた文として、最も適切なものはどれですか。この地域では、海岸部と比較して夏と冬の気温差が大きく、冬の気温が氷点下になるという特徴が見られます。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 南西諸島の気候
 2. 内陸性気候
 3. 瀬戸内の気候
 4. 海洋性気候
- 問9 1977年から2017年にかけての北海道における稲作の動向について、作付面積と総収穫量はともに減少していますが、1ヘクタールあたりの収穫量は増加傾向にあります。このように、一定の土地面積から得られる収穫量が増える背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 化学肥料の使用を一切やめ、伝統的な手作業による農法に回帰したため。
 2. 政府の減反政策により、小規模な農家がすべて廃業して大規模農場に集約されたため。
 3. 生産技術の向上や寒さに強い品種改良が進み、土地あたりの生産性が高まったため。
 4. 地球温暖化の影響のみによって、北海道全域が稲作に最適な亜熱帯気候に変化したため
- 問10 世界遺産に登録されている知床では、多くの観光客が訪れる一方で、自然環境を破壊しないための対策が取られています。湿原や高山植物が広がるエリアに「木道」が設置されている主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 観光客が地面を直接踏み固めて、貴重な植物の成長を妨げないようにするため
 2. 周辺の森林から切り出された木材の輸送を効率化し、地元の林業を活性化させるため
 3. ヒグマなどの野生動物が、人間の歩行ルートに侵入できないように物理的に遮断するため
 4. 大雨が降った際に地面の侵食を防ぎ、土砂が海へ流出するのを食い止めるため
- 問11 日本の地方別統計において、北海道地方は耕地面積が極めて広い一方で、農家数は他地方と比較してそれほど多くありません。この「農家数に対する耕地面積の割合が非常に高い」という状況が、北海道の農業経営にどのような影響を与えているか、正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
1. 農家一戸あたりの土地が狭すぎるため、複数の農家が共同で土地を管理している
 2. 一戸あたりの作業範囲が広いいため、生産効率を高める機械化が不可欠となっている
 3. 労働力が余っているため、機械を使わずに手作業による丁寧な栽培が行われている
 4. 土地の生産性が低いため、農業を営む世帯が減少し、耕作放棄地が最も多くなっている
- 問12 冬の北海道において、シベリア沿岸で凍結した海水が潮の流れに乗ってオホーツク海沿岸へと押し寄せる現象を何といいますか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 季節風
 2. 流氷
 3. 潮汐
 4. 濃霧
- 問13 北海道の地形や都市の配置について説明した次の文章のうち、地理的状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
1. 道南の志苔館跡や洞爺湖がある地域は、主にオホーツク海の影響を強く受けている。
 2. 道北の稚内市から海岸線沿いに南東方向へ進むと、オホーツク海に面した網走市に到達する。
 3. 日本海に面した網走市では、冬にカリブ海から流れてくる流氷を観察することができる。
 4. 内陸盆地に位置する旭川市から西へ進むと、オホーツク海に面した小樽市の港が見える。